

2018年4月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 人民権力全国議会の開催
 - ア 人民権力全国議会召集日の変更
 - イ 議会議長, 副議長, 書記の選出
 - ウ 国家評議会メンバー候補者の提案
 - エ 国家評議会議長他の選出
 - オ 議会への提案と承認
 - カ ディアスカネル国家評議会議長による就任演説及びラウル・カストロ党第一書記による閉会演説
- (2) 第1四半期におけるキューバへの渡航者数の減少 (昨年比)
- (3) 閣僚評議会の開催

2 外交

- (1) ジュベイル・サウジアラビア王国外務大臣の来訪
- (2) 農業協力に係る米キューバ二国間会合
- (3) ベカリ・スポーツ・体育・レクリエーション庁 (INDER) 長官の訪日
- (4) シリアへの米国他による軍事攻撃に対するキューバ政府の宣言
- (5) 在キューバ加大使館の単身ポスト化に係わる加ステートメント
- (6) マドゥーロ・ベネズエラ大統領の来訪
- (7) モラレス・ボリビア大統領の来訪

【本文】

1 内政

- (1) 人民権力全国議会の開催
 - ア 人民権力全国議会召集日の変更
 - 16日, 国家評議会は, 人民権力全国議会第9立法期が発表されていたよりも一日前である4月18日に開始されると通知した。
 - イ 議会議長, 副議長, 書記の選出
 - 18日午前, 人民権力全国議会第9立法期が開会され, 同日, 以下のとおり同議会役員が選出された (すべて留任)。
 - ・議長: エステバン・ラソ・エルナンデス
 - ・副議長: アナ・マリア・マリ・マチャド
 - ・書記: ミリアム・ブリト・サロカ
 - ウ 国家評議会メンバー候補者の提案

18日、議会役員選出の後、全国候補者委員会より議会に対して国家評議会メンバー候補者が提案された。同日午後、右提案に対する投票が実施された。国家評議会議長候補にはディアスカネル現国家評議会第一副議長が推挙された。31名の候補者の内13名が新任、女性は16名、黒人・メスティーソ（混血）45.1%、平均年齢は54歳、1959年の革命以降に生まれた者は77.8%。

エ 国家評議会議長他の選出

19日、前日に引き続き人民権力全国議会が再開され、18日に実施された国家評議会メンバー候補への投票結果が発表されたところ、ミゲル・マリオ・ディアスカネル・ベルムデス国家評議会議長他全候補者（31名）が選出された。

オ 議会への提案と承認

19日、ディアスカネル新国家評議会兼閣僚評議会議長は以下2点を同議会に提案し承認された。

- (ア) 閣僚評議会第一副議長へのバルデス・メサ国家評議会第一副議長の就任
- (イ) その他の閣僚評議会のメンバーを7月の人民権力全国議会通常会期において同議会に対し提案すること

カ ディアスカネル国家評議会議長による就任演説及びラウル・カストロ党第一書記による閉会演説

両演説が実施された後、閉会した。

(2) 第1四半期におけるキューバへの渡航者数の減少（昨年比）

報道によれば、観光省商業局長が国営テレビ放送で、第1四半期におけるキューバへの渡航者数は2017年と比較し7%減少した旨発言した。また、同局長は、キューバは2018年の一年で500万人来訪との目標を維持すると述べた。

(3) 閣僚評議会の開催

25日、ディアスカネル閣僚評議会議長の主催により閣僚評議会が開催され、概要以下の議論があった。

ア 高等教育を卒業する学生の雇用等については、7月に高等教育を修了する学生の内94%については就職先が内定しており、残りの者全員についても卒業までに就職先についての提案がされるとされた。ディアスカネル議長は、「新卒の労働者について、彼らが離職しないよう、直属の上司らが目を配る必要がある。その際、給与だけでなく、職場で如何なる責任を与えられるかが影響する。新卒の就職問題については、分析方法を変更する必要がある、労働力の分配と捉えるべきである」旨発言した。

イ カリカルテ外国貿易・外国投資省次官は、輸出に関する様々なオペレーションの詳細について、刑事上の罰則が課された事例やそのプロセスと併せて紹介した。

ディアスカネル議長は、本件のような問題については、全力で対応すべきであり、その意味で引き続き外国貿易・外国投資省の役割を強化する必要がある等発言した。ウ 都市化計画及び関連規定に対して、然るべき書類の提出がないまま、住居の建設、拡張、返還等が行われ、また、土地の不法占拠や、許可されていない場所での自営行為等の違法行為への対応が、一定の成果を上げていることを認識するとともに、住居関連政策が承認されることで、本件問題の最終的な整理に利するとの考えで一致した。

エ ペドラサ財務企画大臣は、「2017年末時点で、期限を過ぎた未受領及び未払いのうち特に金額が大きかったのは、一定の分野の企業をまとめる組織（OSDE : Organizacion Superior de Direccion Empresarial）等によるものであった」旨発言した。ディアスカネル議長は、「本件は会計上重要で且つ財政資源上の損失をもたらす問題であり、問題の整理が必要である」旨発言した。

オ 2017年11月から12月まで、第12回内部コントロールシステムに対する全国的監査（Comprobacion Nacional al Sistema de Control Interno）が実施され、検査院による339の検査等が行われた。検査の結果多くの規則違反が確認されたことから、検査実施後の分析においては、規則違反に対する無処罰を回避するため、より厳格な対応の必要性があるとされた。

カ 2018年第1四半期における経済計画について、フェルナンデス経済企画省第一次官は、輸出計画が未達成であり、石油供給に困難を生じていることから、外貨準備高が緊張状態にあるとした。また、根本的な問題のひとつとして、輸入品目が計画どおりキューバに輸入されないこと、建築関連の労働力不足、投資プロセス関係者の知見不足等が挙げられるとした。また、3月末時点で、石鹼等の洗面・化粧品関連品目といった国として生産すべき主要品目については当初計画を達成し、特に、生理用品の不足問題については、既に原材料がキューバに到着しており近く解決する見込みであるとした。さらに、砂糖生産の計画に関しては、干魃、雨期及びハリケーン・イルマによる影響を受けたとした。

2 外交

（1）ジュベイル・サウジアラビア王国外務大臣の来訪

2日、キューバ公式訪問中のジュベイル・サウジアラビア王国外務大臣は、ラウル・カストロ国家評議会議長、カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣、ロドリゲス外務大臣と会談した。

ラウル・カストロ国家評議会議長との会談では、良好な両国関係について一致し、関係を更に発展させたい旨表明した。

カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣との会談では、経済協力を中心とする様々な分野について関係を強化することで一致した。

ロドリゲス外務大臣との会談では、良好な二国間関係を確認しつつ、協力関係をレビューするとともに、経済通商関係を強化することで一致した。ロドリゲス外務大臣は、サウジアラビア開発基金関連プロジェクトを評価する、同国におけるキュー

ーバ医療サービス等様々な分野において二国間関係の発展が確認され喜ばしい、パレスチナ問題についてアラブ人の主張に対する支援を改めて表明する等述べた。

(2) 農業協力を係る米キューバ二国間会合

10-11日、米国ワシントンにおいて、農業協力を係る二国間会合が開催され、関連の二国間覚書実行状況がレビューされた。本協力は両国の農業従事者に有益で、有機農業、土壌管理、節水、動植物の伝染病予防及び対応等に関連する。キューバ側は農業省及び外務省、米国側は農業省、国務省職員等が出席した。

(3) ベカリ・スポーツ・体育・レクリエーション庁（INDER）長官の訪日

10日及び12日、キューバ外務省ホームページに、ベカリINDER長官の訪日に係るプレスリリースが掲載された。訪日滞在中、ベカリINDER長官は、林文部科学大臣、鈴木スポーツ庁長等と会談した。

また、ベカリ長官は、斉藤日本野球機構コミッショナー及び山中全日本野球協会副会長とも会談した他、日本プロ野球チームと契約しているキューバ人選手との意見交換も行った。

(4) シリアへの米国他による軍事攻撃に対するキューバ政府の宣言

13日、キューバ外務省は、米国他によるシリアへの軍事攻撃を非難するキューバ政府の宣言を発表した。攻撃は国連安全保障理事会のマージンにおける国際法の諸原則及び国連憲章の明白な侵害であり、主権国家に対する侵害であって、シリアと地域における紛争を悪化させるものである等とした。

(5) 在キューバ加大使館の単身ポスト化に係わる加ステートメント

16日、カナダ外務省は在キューバ大使館の縮小（単身ポスト化）に係わる概要以下のステートメントを発表した。

ア カナダ政府は、2017年に在キューバ・カナダ大使館員に報告された健康症状の原因の調査を継続している。大使館員及びその家族の健康と安全は我々の最優先事項である。

イ 2017年初秋以降は新たな事例はないものの、カナダに戻った大使館員の家族に症状は続いている。目眩、頭痛、集中力の欠如等の症状である。より最近になって、我々は本件に関わるカナダ及び米国の医療専門家から情報を受け取った。彼らによれば、新種の脳損傷への懸念が浮かんた。原因は不明のままであるが、人為的なものである可能性がある。

ウ このような不確かな状態が続く結果として、カナダ外務省は、在キューバ大使館を「単身ポスト」に変更することを決定した。これは、キューバ勤務となったカナダ人外交官は家族を同伴させないことを意味する。

エ 外交官とその家族を保護する我々の義務とキューバにおいて在留カナダ人にサービスを提供する必要性のバランスを考慮しつつ、在キューバ大使館のポスト全

てを見直す。

オ キューバへのカナダ人渡航者が危険にさらされると示唆する証拠はない。カナダ人渡航者は、キューバ政府の渡航勧告の最新情報を確認し続けるべきである。

(6) マドゥーロ・ベネズエラ大統領の来訪

20日—22日、マドゥーロ・ベネズエラ大統領が来訪した。21日、マドゥーロ大統領は、フローレス夫人と共に、革命広場にてホセ・マルティ像に対して献花を行った。同日、マドゥーロ大統領は、革命宮殿において、歓迎式典に出席した。また同日、ディアスカネル国家評議会議長と会談を行った。

(7) モラレス・ボリビア大統領の来訪

22日、モラレス・ボリビア大統領はハバナ国際空港に到着。23日、モラレス大統領は、革命広場にて献花を行った。また同日、ディアスカネル国家評議会議長と会談し、二国間関係を引き続き強化し、様々な分野における協力を拡大させることで一致した。23日、ディアスカネル国家評議会議長とモラレス大統領は遺伝子工学バイオテクノロジーセンター（CIGB）を訪問し、ピメンテル同センター長及びマルティネス・ビオ・クーバ・ファルマ総裁と懇談した。

3 要人往来

(1) 来訪

ジュベイル・サウジアラビア王国外務大臣

クオティ・アフリカ連合副委員長

セケイラ・アンゴラ国家防衛大臣

マドゥーロ・ベネズエラ大統領及びアレアサ同外務大臣

アダノム世界保健機関（WHO）事務局長（2018年キューバ国際保健会議出席）

エティエネ汎米保健機構（PAHO）事務局長（2018年キューバ国際保健会議出席）

モラレス・ボリビア大統領

(2) 往訪

ベカリ I N D E R 長官のモンゴル、ベトナム及び日本訪問

ロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣、シエラ外務次官、ゴ

ンザレス外務次官のペルー訪問（第8回米州サミット出席）